

AIWFF2010 デイリーニュース

9月11日
土曜日
あいち男女共同参画財団
企画協働課内
電話 (052)962-2512
http://www.aiwff.com

明日の
チケット情報

▼売行き状況
○余裕有、△残少、×完売
▼9月12日(日)
⇒ウィルホール
○「ディア・ドクター」(10:00)
○「ブレッド」(14:00)
⇒大会議室
○「坡州(パジュ)」(10:00)
○「ミスにんじん」(14:00)



本日発表 観客賞と愛知県興行協会賞

本日18:00より
ウィルあいち4階

本日午後6時、あいち国際女性映画祭2010観客賞と愛知県興行協会賞が、「ハート・ロッカー」の上映に先立ちウィルホールにて発表されます。
この2つの賞は、観客の皆さんに投票いただいた5段階の評価をもとに、最も高い評価を得た2作品に贈られます。
今回エントリー作品は、次の13作品です。
▼エントリー13作品
「レオニー」、「ミスにんじん」、「ザクロとミルラ」、「ハーブ&ドロシー」、「あなたのためならどこまでも」、「坡州(パジュ)」、「あぜみち

ジャンピンツ!」、「愛その他の悪霊について」、「母の道、娘の選択」、「プリンセス マヤ」、「祝の島」、「月あかりの下で」、「ブレッド」
▼授賞式
・日時 9月11日(土)18:00～18:30
・会場 ウィルあいち4階ウィルホール
※授賞式会場には、「ハート・ロッカー」のチケットが必要となります。



映画祭三日目 9作品上映、監督6名が登壇

昨日、映画祭三日目の上映は、「プリンセス マヤ」始め9作品。ゲストトークには、「祝の島」の瀬瀬あや監督、「月あかりの下で」の西川文恵監督、韓国短編監督3

名が登壇。各監督から制作のキッカケや作品への想いなどが熱く語られ、会場からの質問も多数寄せられました。

また、昨日に続き、1階チケット売場では、来場監督によるカタログサイン会が好評で、サインを求める長い列ができていました。

「祝の島」瀬瀬あや監督

午前10時からの大会議室、「祝の島」の上映後、瀬瀬あや監督は、真剣な面持ちで、まず、今回の映画の舞台となった山口県上関町 祝島の現状を説明。
1982年、島の対岸4キロメートルに原子力発電所の建設計画が持ち上がった。「海は私たちのいのちである。」と語る島の人たちは、原発建設の話が持ち上がって以来、28年間反対活動を続けている。
祝島の湾は、豊かな山からの淡水と海水が交じり合う場所で、多くの魚の生息地となって

いる。島の人たちの財産である海を守るために、現在も毎日抗議活動が続いているとのこと。
しかし、「祝島の原発問題は、ほとんど報道されていないため、多くの人が現状を知らない。少しでも多くの人にこの映画を見ていただき、祝島の現状を知ってもらい、海を守っていきたい。」と作品への想いを語りました。
監督含め、「3人の女性スタッフで、7年前に島に2年間家を借りて、作り上げたという「祝の島」。島の人々の自然な表情、笑い声、波の美しい音や、輝く

海の素晴らしい映像がとても印象的でした。」と振り返りました。「祝の島」の上映終了後、多くの観客の皆さんは感銘を受け、会場は大きな拍手に包まれました。



「月あかりの下で」太田直子監督

午後2時からの大会議室、「月あかりの下で」の上映後、太田直子監督が登壇。
太田監督は、「実はこの作品、テレビ番組で放映するために撮影を始めたのです。浦和商业高校の定時制が廃校リストに名前があがっている、良い学校だからくいとめるための力になって欲しい、とお声をかけていただいたのがきっかけでした。」と制作のきっかけを説明。
その後、「1年で番組にしよう」と撮影を開始したのですが、生徒たちは1年では変わりません。2年目になって生徒たちが大きく変わり始めた頃には、彼

らが抱える事情がとても重いものなのだということに気づいたので、彼らがそれを乗り越えることができればこの映像を公にしよう」と撮影を続けているうちに4年もの年月が経ちました。
約500時間の映像を2時間にまとめたので、この映画で描かれているのは浦和商业高校定時制課程のほんの一部分です。」と経緯を語りました。
最後に、こういった複雑な事情を抱える学生たちにカメラを向けることには相当な覚悟が必要だったのではという観客の質問には、「リストカットでできた傷を自分で手当する姿や、そ

れを見つめる友達の姿を撮影したときは、ああ、この子たちはいったい今どんな気持ちなのだろうかと夢中でカメラを向けました。」と、撮影当時の心中を明かしました。



韓国短編4作品 キム・ソンミン、イ・ギョンミ、パク・チャノク各監督来場



午後7時からの韓国短編4作品の上映後、「Garivegas」のキム・ソンミン監督、「Feel Good Story」のイ・ギョンミ監督、「To Be」のパク・チャノク監督がゲストとして登壇し、制作当時を振り返りながら、作品についてコメント。
まず、今回、長編、短編の双方が上映されたイ監督とパク監督に対し「長編と短編を作るうえでの違いは?」と司会者が質問。パク監督は「短編は瞬間的な

インスピレーションが大切」と指摘し、「実は「To Be」制作時は金欠で、当時、30秒のCMで列車内の二人が無言なのに、仕草で恋人同士だとわかる映像を見かけたんです。その時、「これだこれなら音声がいらない分安く、しかも面白い!」と思ったのです。」と、インスピレーションの瞬間を明かしてくれました。
イ監督は「短編はスタッフが友人知人で、お互いを知っている

というリラックスした雰囲気の中で制作しますが、長編の方が多くの人に興味を持ってもらえます。ただし、お金を払って見てもう訳ですから、失敗してはいけないという緊張感が高まります。」と答えました。
また、イ監督は、この短編作品に関連して、「友人と話していると「(イ監督は)登場人物の(従順な)ヒジツっぽいね」といわれますが、家族や親友には「(懷疑的な)ジョンだ」と言われます。」

とコメントし会場に笑い声を起こしました。
キム監督は「短長編に関わらず映画制作にはプレッシャーが付きまといます。」と、当日の短編映画制作ワークショップのアクシデントの一幕を紹介しながら、「非常に短い瞬間にあまりに多くの判断をしなければならいので、映画制作には多くのストレスがつきもの。」と語りました。

明日 短編映画制作ワークショップ作品発表

明日10:30より
ウィルあいち1階

9月9日から3日間、ソウル国際女性映画祭との交流企画の一つとして、名古屋ビジュアルアーツの全面的な協力のもとに実施中の短編映画制作ワークショップの成果発表を明日午前10時30分から実施します。
このワークショップは、韓国から招いた「The After...」のチェ・ヒョンヨン監督、「Believe in Me」のキム・ジニョン監督、「You Will Know」のキム・ヨンジェ監督、「Garivegas」のキム・ソンミン監督の4名を中心として、映像制作に関わる学生など

36名が参加。3チームに分かれて「出会い」をテーマとした約10分の短編を制作、発表します。
各チームは、監督の指揮のもとに、脚本、俳優、演出、撮影、編集に全員参加で取り組んでいます。
あるチームの作品は、72カットにも及び、ストーリーは、高校生の女の子が先輩に告白するものの、彼が無反応なため、悩むのですが、実は...という恋愛物

語となっています。
撮影現場は、映画制作を楽しむ中でも、監督の厳しい一面も伺え、緊張感が漂っていました。
参加者の一人は、「もともと映画に出た経験があり、また現在も脚本を書いている。韓国ドラマに興味があり応募しました。とても楽しく意義のある時間が過ごせて感謝しています。」と笑顔で応えてくれました。

また、他の参加者からは、「普段学んでいる映画作りを実感でき、とても勉強になり、楽しいです。」という声や、「撮影方法などに日韓の大きな違いはありません。女性監督は男性監督よりも周りの意見を取り入れながら進めていくような印象をうけました。」と話していました。
参加者全員が一丸となって映画制作に取り組んでいる様子が伺え、明日の作品発表が期待されます。



機材提供:名古屋ビジュアルアーツ

本日の上映作品&来場ゲスト

ヴィヨンの妻ー桜桃とタンポポー Villon's Wife

秀でた才能を持ちながらも、酒に溺れ、借金を繰り返し、放蕩を続ける小説家の大谷。妻の佐知はそんな夫を健気に支え続ける。書くこと、そして生きることに苦悩した大谷は、愛人の秋子と心中未遂を引き起こす。昨年生誕100年を迎えた太宰治が描いた、ある夫婦の「愛」の物語。



ハート・ロッカー The Hurt Locker

ビッグロー “ならでは” の男の世界

ご承知の通り、キャスリン・ビッグロー監督の「ハート・ロッカー」は第82 回、アメリカ・アカデミー賞で初めて女性が監督賞を受賞した作品である。さらに監督賞を含め、アカデミー賞では9部門でノミネートされ6部門の受賞を果たした。同時にノミネートされたのが元夫のジェームズ・キャメロンというのも話題になった。彼の「アバター」は、湯水のように資金が投下された3D超大作、一方、彼女の「ハート・ロッカー」は独立プロ作品で、製作費では15 倍ほどの



ブレスド Blessed

玄関のギリシャ正教のアイコンとともに、祈りのロウソクが照らしだすのは亡き夫と、もう一人の“失われた”愛する家族。同じささやかな灯火は、寄付品の収集コンテナでホームレス暮らしをする兄妹を守り続け、悲劇を生む。拒まれても、ロンダが「神の恵み（ブレスド）」と愛した子供たちは、懺悔と、彼らに代わり生まれてくる新たな命への、真の慈しみの誓いとともに「天国のりびと（同）」となって神に召された。誤った愛で苦しめてしまった我が子の無事に安堵した、もう一人の母親・ジナの涙の意味も同じだ。世界中から新天地として、

様々な人々を引きつけてきたオーストラリア。誰もがルーツは異邦人どうしの中、生き抜く闘いは熾烈であり、いっぽう白人に故郷を奪われたアボリジニに居場所はない。子供たちをやるせない思いばかりのストリートの日々追いやってたのも、無垢なアボリジニの少年を非情な実業家にさせたのも、母親との確執ではないのだ。夢と希望の大地と映る移民国家の内側では、それを我が子のために叶えなければならない・・・(野中恵子 トルコ研究者・作家)



~黒澤明生誕100周年記念~

隠し砦の三悪人 The Hidden Fortress

ジョージ・ルーカスの「スターウォーズ」にも多大な影響を与えた娯楽時代劇の快作。戦国時代のある地方、秋月家は山名家と一戦を交えて敗れた。侍大将・真壁六郎太は、

映画の肖像 黒澤明 大林宣彦 映画的对話 a portrait of CINEMA AKIRA KUROSAWA BY NOBUHIKO OHBAYASHI

黒澤明が1990 年に発表した「夢」のメイキング。全13章で構成され、各章ごとに監督直筆の絵コンテを基にした撮影風景の解説がなされ

る。出演者やスタッフのコメント、映画の舞台裏などが収録され、大林宣彦監督との対話を通して黒澤監督が「夢」に込めた想いが浮き彫りに。

木村大作監督
Daisaku Kimura

野上照代さん
Teruyo Nogami

大林宣彦監督
Nobuhiko Obayashi

1939年生まれ。『隠し砦の三悪人』、『悪い奴ほどよく眠る』ほか3作品で黒澤明監督の撮影助手を務める。以後、73年の『野獣狩り』で初めて撮影監督を務め、49作品に携わる。代表作は『八甲田山』(77)『復活の日』(80)『居酒屋兆治』(83)『華の乱』(88)『あ・うん』(89)『誘拐』(97)『ホテル』(01)『赤い月』(04)『憑神』(07)など。50作品目の『剣岳 点の記』で初監督。

1950年、黒澤明監督の『羅生門』にスクリプターとして参加。『生きる』以後、19本の黒澤映画に関わり、黒澤プロの元プロダクション・マネージャー。「天気待ち監督・黒澤明とともに」などのエッセイは、撮影現場の人ならではの視点で描かれ、翻訳されて海外でも高い評価を受けている。近年は、国際映画祭、シンポジウム、生誕百年を迎えて国内外で数多く催された黒澤回顧上映などにも積極的に参加。国境を越え、世代を超えて、映画を愛する人々に黒澤作品の魅力を伝えている。10年に川喜多賞受賞。あいち国際女性映画祭の初回から運営委員を務める。

1938年生まれ。テレビCMのディレクターとして数々の名CMを生んだ後、77年に『HOUSE/ハウス』で劇場用映画に進出。『転校生』を始めとして尾道三部作、新尾道三部作は有名。『日日世は好日』など著書も多数。現在、倉敷芸術科学大学で客員教授を、尚美学園大学大学院では教授に就任中。また毎年開催される北海道芦別市での【星の降る里・芦別映画学校】、大分県での【ふるさと・風の映画学校】では「校長」も務めている。04年春の紫綬褒章受章、09年秋の旭日小綬章受章。



大誘拐 RAINBOW KIDS Rainbow Kids

刑務所を出所した若者3人が計画した誘拐事件。紀州一の大金持ちの老女を誘拐するものの、身代金の要求額が少なすぎると老女は激昂。百億

にしろと誘拐犯たちを焚きつけ、人質のはずが逆に主導権を握ってゆく。とぼけたような、ほのぼのとした空気が漂う犯罪コメディ映画の傑作。



複雑化する映像メディアを幅広く、広い視野と深い造形力をもちつづけて、企画から制作まで一貫してプロデュースする。名古屋学芸大学

□メディア造形学部／映像メディア学科 デザイン学科 ファッション造形学科
□大学院／メディア造形研究科(修士)

〒470-0196 愛知県日進市若郷町竹ノ山57 TEL:0561-75-7111(代表) nagoyagakugei.com

空を飛ぶ私たちだから、できることを。

JALグループでは、次世代に豊かな地球環境を残すことを目指して、環境にかかわる社会活動へ積極的に参加しています。例えば、森林火災の発生抑制の懸念、高度1万メートルの大量噴射、バイオジェット燃料の開発協力など、さまざまな分野で航空会社だからこそできる環境活動を推進しています。

Air carrier. Air caring.

High above the earth, the JAL Group brings eco-caring action to air carrier service. From spotting forest fires to observing the atmosphere at an altitude of 10,000 meters to co-development of bio-jet fuel, we consistently seek cleaner blue skies for a greener future. Because, from our perspective, preserving the planet is inseparable from serving passengers (air, water and on-ground).

2010

高品質なサービスを提供する総合コンベンション企業

コングレは国際コンベンションのコーディネートを中心に、あらゆる分野で国境を越えたコミュニケーションをプロデュースするプロフェッショナル集団です。

語学スタッフ派遣
数々の大型会議を運営してきた実績のもとに、質の高いスタッフが多数登録しています。

通訳業務
多彩なジャンルにおいて、高品質な通訳サービスを提供しています。

翻訳業務
ハイクオリティかつスピーディなサービスを提供しています。
会話をカバーし、ホームページやパンフレットの作成もサポートしています。

国際会議
議政・劇団・企業・通訳
学会・セミナー
事務局・企画・運営
展示会・イベント
企業・通訳・事務局代行
地域開発
コンサルティング
文化施設
コンベンションセンター
コンサルティング・運営
スタッフ研修
派遣・運営
通訳・翻訳
IT商品
開発・運用

株式会社 コングレ 中部支社

ホームページ <http://www.congre.co.jp/>
公式ブログ「コンプレックス」<http://blog.congre.co.jp/>
〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-13 栄第一生命ビルディング208
TEL 052-950-3369 FAX 052-950-3370